

平成23年7月新潟・福島豪雨災害の記録



会津若松建設事務所
企画調査課 主査 伴野史典

国道400号名入工区災害復旧工事の概要について(途中経過報告)

施工場所:大沼郡三島町大字名入字上赤谷地内

1. 概要

- 平成23年7月27日から30日にかけて発生した『新潟・福島豪雨』により、国道400号道路擁壁の下部に位置する只見川河岸の流出等が発生したことから、国道400号の安全を確保するため、公共災害復旧工事(擁壁工)を実施している。

2. 経緯

- 平成23年7月27日から30日にかけての総降水量は只見観測所711mm、檜枝岐観測所372mm、時間最大雨量は只見観測所69.5mmとなり、記録的な豪雨であった。
- 豪雨に伴う只見川の水位上昇により、国道400号道路擁壁の下部に位置する只見川河岸の流出等が発生した。

<経緯>

平成23年 7月27日(4時～) 只見観測所雨降り始め

平成23年 7月29日(18時～19時)

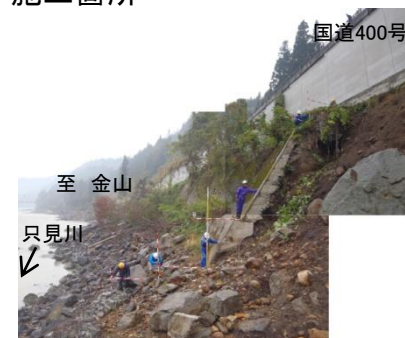
只見観測所にて時間最大雨量69.5mmを記録

平成23年 7月27日～30日 只見観測所における総雨量711mm

平成24年 2月13日 公共災害復旧工事(擁壁工)着手
竣工に向けて現在施工中



施工箇所



被災状況

3. 内 容

【全体事業費】150百万円

【事業期間】平成 23 ~ 24 年度

【事業内容】

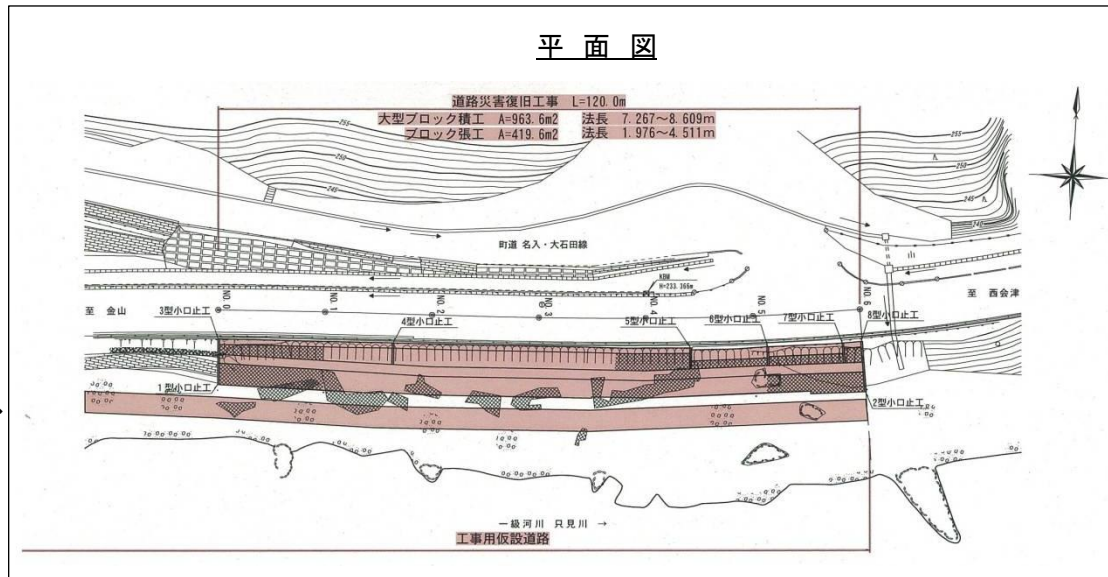
復旧延長 L=120.0m W=11.0m

大型ブロック積み工 A=963.6m²(進捗率98.4%)

ブロック張工 A=419.6m²(進捗率 9.4%)

4. 進 捗 状 況

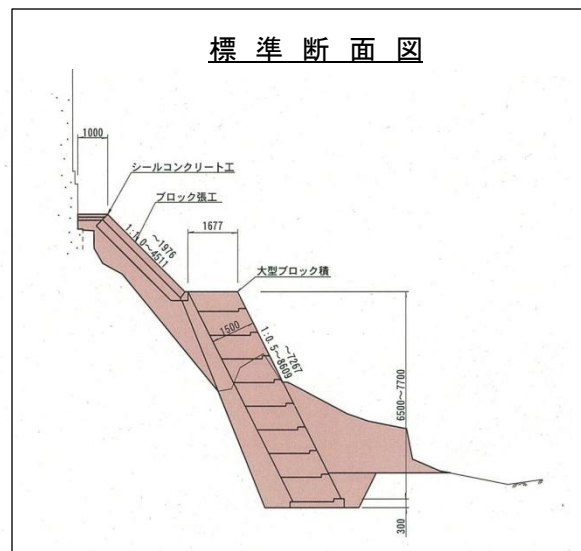
- ・平成25年1月末現在、大型ブロック積み工が完了し、その上部に位置するブロック張工を施工している。
- ・仮設道路に使用する大型土のうの施工数量が多く、製作日数を短縮するため、大型土のう製作者を使用して、大型土のうを製作した。
- ・急峻な地形の関係から、河岸と河川水面との間には多くの作業スペースがとれず、安全を確保しながら工事を進めている。



工事用仮設道路 施工状況



大型ブロック積み工 施工状況



5. お わ り に

・現在は、冬期間の施工となる降雪期であり、狭い作業スペースでの作業となることから、安全の確保に十分注意して、工事の進捗を図っていきたい。